

! 6%しまれ入引手コきと参点財の革変をえるとコ

UIダーイ 本界 サ カス プリ は参 ご 回 離 S W O H I み ちなん

。式しまし画金フしと製の同共のあれる子をSWOHの期令おさ

式し式は。もまいてからぬ氷まい、沈子乙業計の同共式しら予

,を試ひ>C玄 [軸] お的悲思のていひコ値前の衆大男人の武百

幾、0来評、フレチ。(れたよしづいなおうのをあごとことにな

の百軒フえ越ずいてすぐがか当い苦む路ひ短い値重フいおい対

窮なまちまちてし」めじ おず 赤芸・ 学文 、 おのな 使大。 ひ せま

。みせまひなおがけなし欲開季流速な的郵酵コちままり、次分

世い苦さ式し式は去べて吐る値重の数令せははと、プレ校ご訳

状のこ。をまいてい主し返り繋が線事を介ち如回っへ側の値刻

しらそ、 よるよれな戦策で重関のと観點心中の史が既、 だーギ

い、ネエなまちまちは含みのよの計当い許ならえるから見りし敵

ので値重帯重七そ入りへの卦原、さみむを、ムンンいてし流合

これ流の革変な大三のころびは迷ら高水の値重結 ,フノチ

。こもしでムンシハフし 登憶 いんなの 健重 精な 内衆大 ふ [論野] ぶん

はいりは重要を含める革変の界世 、>なろこるれちはましたご

「躁制」も流パオのマトデメスタ、オ表、>おろろも発型习針

! 6~☆☆は~ 「軸」な的感思コ汁世い苔●

。もまえぎ却さ六し六はムゴキ~[る仏甍] オムンオ

、Jいなおろのよるも限実习ではとひれ「悪」のろ、Jはし

HOWS 講師一覧

秋葉

浅野 健-

朝生

天羽

雨宮

荒井 新垣

荒川

新崎

飯塚

飯島 滋明

板垣

井土 伊藤

伊藤

井野

今中

伊波

植村

内田 聖子

内田 妙子

内田

梅田

江刺 昭子

大西

大村

大畑

岡田

小谷野

及部

海渡 雄·

片山

加藤

金澤

金山

加部

五十嵐

井口 秀作

池田 実池宮城紀夫

石川 逸子

正孝学

紀州

彰信

拓也

茂雄

· 采 昌征

聰

浩

雅敏

赤人 歳一 作家

龍次

毅

夏子

晋介

明子

洋祐 孝夫

編集者

編集者

韓国サンケン

弁護士

弁護士

歌人

哲哉 『重力』編集会議

朝鮮・中国研究者

『東京新聞』記者

秀樹 弁護士

浅井 春夫 立教大学名誉教 浅井 基文 国際問題研究者 安里ミゲル プロレタリア詩人

進

憲治

処凛

晴彦

源吾

勇

彰

真南斗 『琉球新報』記者

編集者

立教大学名誉教授

脚本家・映画監督

『琉球新報』記者

盛吾 元新聞労連委員長

愛媛大学教授

弁護士

文芸評論家

詩人

福島原発元作業員

『神奈川新聞』記者 東京大学名誉教授

脚本家・映画監督

翻訳家·映像家

千葉大学名誉教授

元出版労連書記次長

文化活動家

瀬戸	宏	大阪摂南大学名誉教授	樋口 健二	報道写真家
ダイロン	- オヘダ	駐日キューバ共和国大使館一等書記官	日暮 聖	. 元法政大学教授·国文学
髙井	一聴	自治体労働組合活動家・ケースワーカー	日比野敏陽	
高井	潔司	元桜美林大学教授	平賀健一郎	
高里	鈴代	基地・軍隊を許さない行動する女たちの会	平松 利昭	
髙嶋	伸欣	琉球大学名誉教授・社会科教育	藤本愛子	
高野	飛鳥	中部全労協事務局長	藤原	
高橋	哲哉	東京大学名誉教授	古川美佳	
高橋	俊次	壊憲 NO! 96 条改悪反対連絡会議事務局	古田」	1 - 11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 1
高橋	美香	フォトジャーナリスト	白 喆 釤	—
高良	鉄美	参議院議員、会派沖縄の風	白宗元	
		琉球大学法科大学院名誉教授	外間三枝子	
滝野	忠	『社会通信』発行人	星野 溱	
<u>滝本</u>	匠	『琉球新報』記者	星野 良明	
竹見智		ジャーナリスト	堀川 久司	前千葉高教組委員長
田代	ゆき	新聞労働者	本田 由紀	,東京大学大学院教授
立野	正裕	元明治大学教員·英文学	前田 朗	朝鮮大学校講師
田中	宏	一橋大学名誉教授	松沢 弘	反リストラ産経労組委員長
谷口源		スポーツジャーナリスト	松村比奈子	
田端	博邦	元東京大学社会科学研究所教授	丸川 哲史	明治大学教員
崔格	E —	在日本朝鮮人総聯合会大阪府本部副委員長	三上 広昭	労働者文学会幹事
蔡 萬		韓国·労働社会科学研究所所長	水島 朝穂	
鄭 第	₹ 桓	明治学院大学教員	宮川 敏一	1 1001-17 1 9 171974
津田	憲一	元神奈川県中学校教員	三宅 晶子	
槌田	敦	物理学者・核開発に反対する会代表	村田忠禧	
土田	宏樹	『伝送便』編集委員	文 泰 勝	
土屋	カチ	ビデオ制作者		・油縄・北部訓練担のAIIパッパを記念
問山	栄恵	『琉球新報』記者	元山仁士郎	行に反対する若者有志の会
東海村		『毎日新聞』記者	矢ヶ崎克馬	
徳住	堅治	弁護士	八木 啓代	
富山	栄子	国際交流平和フォーラム代表	安川寿之輔	
鳥井	一平	移住者と連帯する全国ネットワーク代表理事	安田 和也	
永尾	俊彦	ジャーナリスト	安田 浩一	・ ノンフィクションライター
中島	浩	元全統一労働組合	安田幸弘	
中西親		横浜市立大学名誉教授・関東学院大学教授	柳田	
中野	敏男	東京外国語大学名誉教授	矢野 静明	
中原	純子	全労協全国一般東京労組フジビグループ分会	山口 直孝	
中原	道子	早稲田大学名誉教授	山崎 久隆	
<u> </u>		『琉球新報』記者	山下 勇男	
中村	美彦	元千葉高教組書記長		
村中	哲也	TO I FIGURE MANUEL	山田 勇山本 英夫	
<u>が中</u> な す		元日本乗員組合連絡会議	山本 英夫	- フォトグ フファー - 不当解雇とたたかう日本航空労働者を
	一郎	被ばく労働を考えるネットワーク山谷労働者福祉会館	柚木 康子	・
楽		弁護士 『教えられなかった戦争』シリーズ上	湯本 雅典	
西浦	昭英	映実行委員会/現辺野古抗議船	横田耕一	
西崎	雅夫	「関東大震災朝鮮人虐殺の国家責任を問う会」運営委員	吉沢 弘志	
西垣	泰子	明星大学名誉教授・デザイン	吉田 康彦	
西野瑶		ルポルタージュ作家	吉田裕	
二瓶 二瓶	<u>一夫</u> 久勝	福島県三春町在住	吉留 要	
		元国鉄闘争共闘会議議長		
萩尾	健太	弁護士	HO 70 130	
<u>朴 京</u>		公益財団法人在日朝鮮学生支援会代表理事	李俊植	
<u>朴</u> 南		在日韓国民主統一連合	李春熙	
朴英		映画監督	李東培	P 1 / / / / /
長谷川		朝鮮学校無償化排除に反対する連絡会共同代表	李 柄 潤	
長谷川		元部落解放同盟東京都連執行委員長	林裕哲	
長谷川		哲学者・ヘーゲル研究	李英哲	
羽仁	進	映画監督	渡辺 厚子	
羽根	次郎	明治大学教員/中国近現代史・現代中国論	渡辺 治	一橋大学名誉教授・政治学

HOWS (本郷文化フォーラム ワーカーズスクール) 〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-10 飯島ビル1階 小川町企画内 TEL.080-9816-3450 URL=http://www.hows.jpn.org/ e-mail=hows@dream.ocn.ne.jp 郵便振替 00140-5-186275 口座名称 HOWS

ク 論 強 教授

● 重要なお知らせ ●

変革のための共学の広場

『思想運動』1100号(2024年5月1日発行)【付録】

●2024年度前期(5月~9月・6シリーズ20講座)

◆プロレタリアートの連帯へ!

◆目取真俊『眼の奥の森』を読む

◆世界のいまを直視する

◆この人にきく

(略称:ハウズ)

2024年度前期

定員30名の事前予約制です。また急きょ中止・延期 する場合もあり得ますので、参加希望の方は必ず電 話番号をお教えください。普通より熱が高いなど体 調に変化がある方は参加を遠慮してください。

HOWSの電話番号が変わります

080-9816-3450

※旧電話番号およびFAXは、2022年11月以降は使えません

œ G ○ご録な予♂ 通 獙 **帰目工三 職本** 線内の戊 0 **計録 LAU 菱三** O II -4451 ● 一代ーパスチ &E1 9 2 ●堂副三 ③ 春 œ 無 H ⊗ 番交職本 混目工三涨本 署察警 署初밝 縣可正大當階 十富本 • 点盖交 目丁三凞本 X4631-6X

> (員獎示學大舒即) **谷五锂立= 碃顜** 「黙回のイストにエ」 - 計を茶さる

さ続き続小蘇豉の界世 ※田5月7●

(1) 【スクサルバーロで】る偽赾含青 生)日62月3●

(家舗精芸文) 結請翻申= 書牌

(OSIA ~ EA) 「Oろび読す [森の奥の朋] ひ読念 [森の奥の期] 数真項目 (土)日さ1月3●

(員竣元学大舒即) **谷五碑立= 福薫**

「Gハまくェやーイー~」 サーナポーキャー

违請多號小縣豉の界世 (本)日92月2●

く。いちがく意託で。もで胡る一部の後子も間部の型睛のこと (員栾顸衲栾顸举科文人举大卦志同) **芙善重**毀=**福**囂 **化去~を帯重い化いおさぶしぶけ**―

る成多

を成る

を見る

を (イスじもーかでイキマ) 香美静高= 配羈

る仏材ת地現七キス小りへの間月化2-

る味多ろひ人る考型コナモスリハ(生)日81月2① 型 2024年度前期開講連続調率

Ŧ PM1:00 ~ 4:00 00: 6~0E:9Wd 日 水

うのな次で不べろうというしんべんとうづんなの系関のと野倒 革変の予びよは本総史団の外近ずバチ 、 ご問目らむ貼り取了し こばを使い題親結な付に即るさはい間瞬の対視ないさない。 , ぶんかんるあからろ。 もまいてかち思表い的中葉ご踩割量大 。式しまん逝去突コ辛潍蓁主国帝去なろろるが収金、刊尉

ず 「い闘のムロモ」 「人介的彰人」 コミカのdる まず 東郎の 養玉さん式あ、お的板と一でワミぐいての国義主国帝式か式放 内題客の分式な内養主本資、、もら式き多懸祭の另人国話了こよ 東山間にあな>あの本質、対熱奇の重一されごれん話じ頭

。もまいてしる式は多型緊の整動いな>しています。 。もまいてい熱心辛縄蒸発せ代・七モスしれるより家国イス二七 くのされ字詞、ひるが春輝七トラクウオレか感コ字22プレ発 ⇒端コ辛ト「OS 、おいたい向き廻」、限せいないではないではないではない。 るいフとおコハイエキセイをますま 、おさえるとのろ 、まい

。式しまいファ福ン「いならなおおかな玄選実がな深等フい缶 この現代をの中心課題と結びつけて、あるいとなる。 、きてしょるも本寺コ自然はかそえとは、お園黒的的がのつぐ も]、5考」 [るあご/dる刊らしなご/d/3予辞の~養主会丼な は限出全てし路瀬玄義主国帝、CCJ組克玄缵奇ののよの子寺 半の醭人でいる辛縄鉢焼 | 玄鼠馬心中の史分原、おいち夫昭共 海式し案點す短開 SWOHのプリム 「駅の働 翻の J び人 も 志 す

! ゔ流合の~【題無心中の史外貶】●



~ らび とび きまますひ とび とべ C割点之SMOH

ムモーセクシャマ歌本

ここHOWSで、真実の思考を追究しよう! ▶現代への疑問と不満を抱き、矛盾の解決をめざす人びとへ ――

パレスチナを知る開講連続講座

15月 18 日(土) 13 時~ 16 時

パレスチナに生きる人びとを知る

- 2か月間のパレスチナ現地取材から

講師=高橋美香(フォトジャーナリスト)

(2) 6月1日(土) 17時~20時

パレスチナ解放闘争の歴史 と現在を知る

−わたしたちはいかに連帯すべきか

講師=役重善洋(同志社大学人文科学研究所研究員)

1、プロレタリアートの連帯へ!

春闘は「33年ぶりの高水準」と浮かれたものの中小労働者や「非正規」の 雇用形態そのものの不当性は無視。労組の幹部が資本家との協調を主張すれば、 無視された8割の労働者は不信をもつ。また、政治的闘争課題に労働者階級が 取り組む伝統も解体されつつあり、国際連帯からも切り離される。いかにして この状況を突破し、現代プロレタリアートの連帯をつくるか。それを議論したい。

①7月20日仕) 労働者階級の政治意識をいかに形成するか

分断から団結へ、労組活動家は語り合おう

座談=鈴木友陽(全農林労働組合分会執行委員)

藤本愛子 (国公労連支部委員長)

須田光照 (全国一般東京東部労組書記長)

司会:藤原晃(神奈川高教組)

夏季セミナー

②9月14日仕 アメリカ労働運動の高揚からなにを学ぶか

- わたしたちの運動を基礎から強めるために

講師=若林靖久(自治体労働組合書記)

2、世界のいまを直視する

いま、「グローバルサウス」が声を強めている。しかし、米欧日を中心とす る帝国主義勢力はその一部を政治的に取り込みつつ、軍事的にも封じ込めるこ とで、この流れを押し留めようとしている。第三世界の諸民族はこの状況をい かに打開するか、そして帝国主義本国の人民は世界の変革過程にいかに切り結 ぶか。本シリーズでは世界を直視する視点と課題への理解を深めていきたい。

①6月29日生 声を強める「グローバルサウス」(1)

- いっそう狡猾になる西側

講師=富山栄子(国際交流平和フォーラム)

②7月21日印 第三世界のなかのレーニン思想

- レーニン没後100年とこんにちの世界

講師=林裕哲(朝鮮大学校外国語学部准教授)

夏季セミナー

③8月24日(土) 声を強める「グローバルサウス」(2)

- 攻勢を仕掛ける米欧日豪

講師=富山栄子(国際交流平和フォーラム)

社会主義への道が現状を打開する道 ※この講座は13時30分開始。 講師=林裕哲(朝鮮大学校外国語学部准教授)

3、21世紀の芸術と批評

現代にあって「俗情との結託」(大西巨人)をあくまでも拒否しようとすれば、 ある種の「寂しさ」に直面せざるをえない。括弧つきの「芸術作品」は歴史や 社会の本質としての真理を照らす像たりえず、大衆の能動的な喜びとはまった く無縁の粗製乱造の「娯楽作品」は、諸々のイデオロギー機構に管理された人 びとの虚偽意識を固定し増幅させることで芸術運動の基盤を虫食みつくす。本 シリーズではこの後退状況を克服するための芸術と批評のありかたを考える。

①7月20日生) 世界文学としての大西巨人文学

- 市民社会をこえて

対談=山口直孝(二松学舎大学教員)

立野正裕 (明治大学元教員)

司会:杉山雄大(二松学舎大学教員)

夏季セミナー

②7月21日(日) クリティシズムの復権へ!

– ざっくばらんに語る思想・文化・芸術のこんにちの課題

座談=佐藤勇輝(20世紀フランス文学・思想研究)

伊藤龍哉 (文芸評論家)

司会:杉林佑樹(翻訳家·HOWS事務局)

夏季セミナー

4、世界の短編小説を読む

これらの作品に共通する特徴は作中の「語り」にあろう。手記のかたちで語 られる話、聴き手を目の前に置いて語られる話、回想として独り語りに過去が 物語られる話などさまざまな語りの姿かたちがある。「語り」を通じて明らか にされる人の生の「実相」と「別の時間」。人の生を織りなす情熱の摩訶不思 議なありようとその多様性に思いを馳せ、一次元的な時間への囚われと執着を 突き放す試み。取り上げる作品はいずれも岩波文庫を始め複数の文庫にて入手

講師=立野正裕(明治大学元教員)

①5月29日(水) リヒャルト・ヴァーグナー作

「ベートーヴェンまいり」 〔『響』(百年文庫)または『ベエトオヴェンまいり他3篇』(岩波文庫)に収録)

②7月3日(水) アーネスト - ダウスン作 「エゴイストの回想」

[『響』(百年文庫) または『アーネスト・ダウスン作品集』(岩波文庫) に収録)

③8月21日(水) 江戸川乱歩作「押絵と旅する男」 (『江戸川乱歩名作選』(新潮文庫)または『江戸川乱歩短篇集』(岩波文庫)に収録)

④9月25日(水) 泉鏡花作「夜叉ケ池」

〔『夜叉ケ池・天守物語』(岩波文庫)に収録〕

目取真俊『眼の奥の森』を読む

前の期に引き続き目取真俊〔1960年~〕の小説作品と取り組む。

『眼の奥の森』(影書房)は、はじめ季刊誌『前夜』に2004年から3年にわた り連載され、のち単行本化された。沖縄戦末期、米軍に占領された島で一人の 少女(小夜子)が米兵たちに強姦される。小説はこの事件をめぐる10の語りか ら構成される。島の区長、小夜子が連れ去られたとき傍にいた妹や近所の子供 たち、少女を強姦した米兵、沖縄出身の両親をもつアメリカ人通訳、……。そ れらの語りが事件から60年を経た(執筆時における)現在からなされ、わたし たちは、それぞれが抱える記憶の現在と向かい合う。そればかりではない。60 年間、思い人に「ひとつの声」を発してやまず、その「声」が到来し聞き届け られるのを待ち望み続ける盛治と小夜子に出会うだろう。なにしろ本作は「恋 愛小説」の傑作でもある。

※下記の指定頁数は、影書房刊『眼の奥の森』新装版に依る。ご不明な点はHOWS事 務局までお問い合わせください。

① **6月15日**仕) 『眼の奥の森』 を読む──その **1** (P3 ~ P120) 報告=伊藤龍哉(文芸評論家)

②8月3日(土) 『眼の奥の森』を読む──その2 (P121 ~ P221) 報告=田代ゆき(組版労働者)

③9月28日仕) 『眼の奥の森』を読む

第1、2回の報告と討論で出た論点を踏まえて 報告=未定 ※複数の発言者を立てる予定です。

6、この人にきく

①5月18日仕) パレスチナに生きる人びとを知る

2か月間のパレスチナ現地取材から

講師=高橋美香(フォトジャーナリスト)

②6月1日生) パレスチナ解放闘争の歴史と現在を知る

わたしたちはいかに連帯すべきか

講師=役重善洋 (同志社大学人文科学研究所研究員)

③ 7月21日(日) 反帝共同行動を求める朝鮮に切り結ぶ視点

※この講座は17時~20時開催。

夏季セミナー

東アジアの転換点、日朝青年で今後の運動を考える

座談=尹成銖 (在日本朝鮮青年同盟中央国際部長)

大村歳一 (活動家集団思想運動事務局責任者)

司会:韓梨恵 (朝鮮近現代史研究)

4 7月22日(月) 帝国主義との対決こそがパレスチナ問題の核心 『パレスチナの革命』(東庄平著、スペース伽耶)を題材に 講師=黄貴勲(在日本朝鮮社会科学者協会大阪支部)夏季セミナー

⑤9月7日(土) 在日朝鮮人からみた日本国憲法の成立と現在

憲法改悪反対運動に求められる歴史的・国際的な視座 講師=李泰一(朝鮮大学校政治経済学部学長)

講師・報告 ① 5月18日(土) パレスチナに生きる人びとを知る 高橋美香 -2か月間のパレスチナ現地取材から ② 5月29日(水) リヒャルト・ヴァーグナー作 立野正裕 「ベートーヴェンまいり」 ③ 6月1日出 パレスチナ解放闘争の歴史と現在を知る 役重善洋 ―わたしたちはいかに連帯すべきか ④ **6月15日生** 『眼の奥の森』を読む――その1 伊藤龍哉 ⑤ **6月29日**出 声を強める「グローバルサウス」(1) 富山栄子 --いっそう狡猾になる西側 ⑥ 7月3日(水) アーネスト - ダウスン作 立野正裕 「エゴイストの回想」 ⑦ 7月20日生) 労働者階級の政治意識をいかに形成するか 鈴木友陽 藤本愛子 一分断から団結へ、労組活動家は語り合おう 須田光照 藤原晃 8 **7月20日**生)世界文学としての大西巨人文学 山口直孝 -市民社会をこえて 立野正裕 杉山雄大 ⑨ 7月21日(日) 第三世界のなかのレーニン思想 林裕哲 ーレーニン没後100年とこんにちの世界 ⑩ 7月21日(1) 反帝共同行動を求める朝鮮に切り結ぶ視点 尹 成 銖 大村歳· 東アジアの転換点、日朝青年で今後の運動を考える 韓梨恵 ① 7月21日(1) クリティシズムの復権へ!――ざっくばらんに 佐藤勇輝 語る思想・文化・芸術のこんにちの課題 伊藤龍哉 杉林佑樹 ① **7月22日**(月) 帝国主義との対決こそがパレスチナ問題の核心 黄 貴 勲 - 『パレスチナの革命』(東庄平著、スペース伽耶) を題材に ③ 8月3日出『眼の奥の森』を読む――その2 田代ゆき ⑭ 8月21日(水) 江戸川乱歩作「押絵と旅する男」 立野正裕 (3) **8月24日**(土) 声を強める「グローバルサウス」(2) 富山栄子 - 攻勢を仕掛ける米欧日豪 (6) **9月7日**(土) 在日朝鮮人からみた日本国憲法の成立と現在 李 泰 -- 憲法改悪反対運動に求められる歴史的・国際的な視座 ① 9月14日生 アメリカ労働運動の高揚からなにを学ぶか 若林靖久 - わたしたちの運動を基礎から強めるために 18 9月21日生) 歴史の主体としての第三世界の現在地 林裕哲 -社会主義への道が現状を打開する道 9 9月25日冰 泉鏡花作「夜叉ケ池」 立野正裕 20 **9月28日**仕)『眼の奥の森』を読む 未

HOWS講座カレンダー 2024年度前期(5月~9月)

◎HOWS付属ゼミナール

HOWS本科生と聴講生は、有志参加による下記ゼミナールに参加でき ます。参加費は各ゼミ毎に別途お支払いください。

①HOWS文学ゼミ(戦後文学ゼミを改称) チューター=山口直孝、松岡慶-

2000年から2016年まで主に戦後の文学・芸術運動を検証する作業を続 けてきましたが、これを第 I 期として、2018年からは第 II 期、名称も HOWS文学ゼミで再出発しています。第 I 期の作業を継承するのみなら ず、いかにして現在の荒廃した支配的文化状況を変革して、文学・芸術 運動を再生していくかが課題です。

≪2024年度前期募集要項≫

- ●定員 本科生20名
- 全講座 20 回 (各週 1 ~ 2 回程度) 本科生は、すべての講座を受講できます。
- ◎聴講生20名

シリーズを問わず、自由に講座が選べる8枚綴りの聴講チケットがあります。

●費用

○本科生 入学金…1万円(次期以降は不要) 受講料…前期:25,000円、後期:25,000円

・前期5月、後期11月の開講時までにそれぞれ納入してください。

◎聴講生 聴講料 回数券…10,000円

- 聴講料納入と引き換えに8回まで使える聴講カードをお渡しします。
- 1回の受講料は本科より割高ですが、一般受講より割安になります。 ・聴講チケットは、期間内のみ使用できます。
- ○一般 受講料…1,500円(各講座1回につき) 本科生・聴講生以外の一般参加は、受付で現金にていただきます。

●申込方法

• 所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、入学金・受講料を添えて、直接事務 局に持参、または現金書留にて郵送してください。郵便振替ご利用の際は、申 込用紙を別途郵送または事務局にお持ちください。

- HOWSゼミナールについては、会計が異なります。
- 講師の急病等やむを得ない事情により、日程・テーマ・講師等が変更になる場 合があります。

夏季セミナー変革と創造のビジョンをつくりだそう!

①7月20日生) 労働者階級の政治意識をいかに形成するか **座談=鈴木友陽**(全農林労働組合分会執行委員)/藤本愛子(国公労 連支部委員長) / 須田光照 (全国一般東京東部労組書記長) /

②7月20日生)世界文学としての大西巨人文学

対談=山口直孝(二松学舎大学教員)/**立野正裕**(明治大学元教員) 司会:杉山雄大(二松学舎大学教員)

③7月21日旧 第三世界のなかのレーニン思想 講師=林裕哲 (朝鮮大学校外国語学部准教授)

司会:藤原晃(神奈川高教組)

7月20日(土)~22日(月) (神奈川県の施設に宿泊/事前申込・宿泊料別途必要) ④7月21日印 反帝共同行動を求める朝鮮に切り結ぶ視点

座談=尹成銖(在日本朝鮮青年同盟中央国際部長)/大村歳一(活動 家集団思想運動事務局責任者) / 司会: 韓梨恵 (朝鮮近現代史研究)

⑤7月21日(日) クリティシズムの復権へ!

座談=佐藤勇輝(20世紀フランス文学・思想研究)/伊藤龍哉(文芸 評論家) /司会:杉林佑樹(翻訳家·HOWS事務局)

⑥7月22日(月) 帝国主義との対決こそがパレスチナ問題の核心

講師= 黄貴勲 (在日本朝鮮社会科学者協会大阪支部)